

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|------------|-------------------------------|---|--|
| CLTの認知度が低い | CLTに関する情報の発信・CLTを用いた建築物の評価の向上 | <p style="text-align: right; font-size: small;">R2年度からの継続含む</p> <p>◆消費者・事業者等に向けたPR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> CLT建築物の環境性能を評価し、施主等のエンドユーザーに普及するためのパンフレットの作成に対して補助。 CLT建築物の事業性検討のために必要な情報（事業スケジュール、事業収支、性能等）を整理したデベロッパー等向けのパンフレットの作成に対して補助。 【以上、農水省】 CLT等の新たな木質材料を用いた建築物等の認知度の向上に資する消費者等向けの普及・広報（Webサミットの開催、PR動画等の制作）に対する支援を実施。 【国交省】 経済団体、鉄道業界、建築業界への働きかけの実施。 【内閣官房、農水省、国交省】 介護施設等におけるCLTの導入効果などの調査研究、普及啓発を目的とした「CLTを活用した介護施設等の事例集」の作成に対して補助。 【厚生労働省】 <p>◆大規模イベント等における活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博の日本政府館への活用を検討。 CLT活用推進パートナーの公募及び決定。 CLT活用推進パートナーによるCLT再利用パートナーの公募。 【内閣官房、農水省、国交省、環境省】 <p>◆SDGs・ESG投資等への寄与の「見える化」等</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物への木材利用の地球温暖化防止への貢献をわかりやすく示すことができるよう、「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」を公表。 ESG投資等において建築物への木材利用が有効に評価されるよう、評価項目・手法・指標や評価の仕組みのあり方について検討。 【以上、農水省】 日本政策投資銀行に対し、DBJ Green Building認証の評価項目に木造建築・木材利用の項目を追加することを要請。（評価項目は改定済） LCCM住宅の評価ツールの対象を木造を含む共同住宅に拡大。 住宅性能表示制度における耐震、耐風及び劣化対策の評価基準にCLTパネル工法を追加。（告示） 上記評価基準の見直しに併せて、長期優良住宅制度におけるCLTによる住宅の認定基準を整備。（告示） 【以上、国交省】 | <p>◆消費者・事業者等に向けたPR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営者などの意思決定者等に向けてCLT建築物の事業性検討に必要な情報を普及するための取組等の実施に対して補助。 【農水省】 引き続き、消費者等向けの普及・広報（事例集等の制作、ウェブサイトの改訂）に対する支援を実施。 【国交省】 引き続き関係団体に対し普及・啓発活動を実施予定。 【関係省庁】 <p>◆大規模イベント等における活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博の日本政府館で使用予定のCLTの再利用方策の検討。 【内閣官房、農水省、国交省、環境省】 <p>◆SDGs・ESG投資等への寄与の「見える化」等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ESG投資等において建築物への木材利用が有効に評価されるよう、評価項目・手法・指標や評価の仕組みのあり方について検討。特に木材の炭素貯蔵・排出削減効果等に係る具体的な評価手法・指標の検証を実施。 【農水省】 引き続き、木造建築・木材利用に係る評価の充実を図る。 【国交省】 |

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|------------|--------------------|--|---|
| CLTの認知度が低い | モデル的なCLT建築物等の整備の促進 | <p>◆モデル的・先導的建築物の建築、実証事業等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLTを活用した先駆的な建築物の建築等の実証23件に対して補助。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援)【農水省】 CLT等を用いた先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造化プロジェクト13件(R2・3年度)に対する支援を実施。 (サステナブル建築物等先導事業(木造先導型))【国交省】 <p>・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)化を目指す建築物に対する設備導入補助事業において、CLTを用いた3件を優先採択。 (建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業)【環境省】</p> <p>◆先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLTアイデアコンテスト2021の設計部門において、3大臣賞を授与。 【農水省、国交省、環境省】 <p>◆公共建築物等への積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備2件に対して補助。 (林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備)【農水省】 <p>◆CLT建築物を活かした街づくりの実証</p> <ul style="list-style-type: none"> 「街づくり(一定区域内における複数のCLT建築物などの建築等)」に向けた設計等の実証に対して補助。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援)【農水省】 | <p>◆モデル的・先導的建築物の建築、実証事業等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLTを活用した先駆的な建築物の建築等の実証(8月末時点で22件)に対して補助予定。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援)【農水省】 引き続き、CLT等を用いた先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造化プロジェクトに対する支援を実施。 (サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)) 建築物の木造化の普及に資する優良なプロジェクトに対する支援を新たに創設し実施。 (優良木造建築物等整備推進事業)【以上、国交省】 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)化を目指す、建築物に対する設備導入補助事業及び大規模建築物に対する補助事業において、CLTを用いた事業を優先採択。 (建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業(住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費補助金))【環境省、経産省】 CLT等の建築木材の省CO₂効果の高い再利用方法を調査・検証するための事業を実施。 (木材の再利用によるCE×CNの同時達成方策評価検証事業)【環境省・農水省】 <p>◆先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「CLT DESIGN AWARD 2022-設計コンテスト-」において、3大臣賞を授与予定。 【農水省、国交省、環境省】 <p>◆公共建築物等への積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備(8月末時点で4件)に対して補助予定。 (林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備)【農水省】 <p>◆CLT建築物を活かした街づくりの実証</p> <ul style="list-style-type: none"> 「街づくり」の実証に対する支援事業を実施。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援)【農水省】 |

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|------------|---|---|---|
| CLTの認知度が低い | モデル的なCLT建築物等の整備の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆標準的な木造化モデルの作成・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な用途であるオフィスビルについて、ゼネコン等が提案する中規模木造ビルのモデル試案の作成に対して補助。【農水省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆標準的な木造化モデルの作成・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・オープン技術で設計・施工が可能な中層の事務所用途の標準的な木造化モデルの作成に対して補助。【農水省】 |
| | <p>コスト面の優位性が低い</p> <p>まとまった需要の確保</p> <p>効率的な量産体制の構築</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆公共建築物等への積極的な活用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備2件に対して補助。（林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備）【農水省再掲】 ◆製造施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・JAS認証を取得したCLT工場が9工場あり、生産能力は、8万m³/年（R3.4現在）。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州2工場【農水省】 ◆CLTパネル等の寸法等の規格化に向けた連携体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、CLTパネルの寸法の標準化・規格化に向けた検討を開始。【農水省】 ◆低コストの接合方法等の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、低コストの接合方法等の開発に向けた検討を開始。【農水省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆公共建築物等への積極的な活用（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備（8月末時点で4件）に対して補助予定。（林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備）【農水省再掲】 ◆製造施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・R4.4現在のCLT工場数、生産能力は、R3年度と同様（9工場、8万m³/年）。R4年度に九州1工場が本格稼働となっており、生産能力が増加する見込。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州3工場 ・需要動向や地域ブロックバランスを考慮したCLT製造施設の整備への支援事業を実施。【以上、農水省】 ◆CLTパネル等の寸法等の規格化に向けた連携体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、寸法の標準化・規格化に向けた取組を推進し、CLT製造事業者と設計・施工者等の連携によるモデル的な建築等の実証（8月末時点で1件）に対して補助予定。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【農水省】 ◆低コストの接合方法等の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・CLTパネル工法における低コストな接合方法等の開発に対して補助。【農水省】 |
| | 建築コスト関連の情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> ◆S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業等において、S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報を収集する取組に対して補助。【農水省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業等において、S造やRC造等とのコスト比較等を引き続き実施し、得られた情報について、設計者や施工者が把握しやすいよう情報提供する取組に対して補助。【農水省】 |

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|------------------------------|---|---|---|
| <p>需要に応じたタイムリーな供給を行えていない</p> | <p>安定的供給体制の構築</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆製造施設の整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・JAS認証を取得したCLT工場が9工場あり、生産能力は、8万m³/年（R3.4現在）。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州2工場【農水省再掲】 ◆製造メーカー間の連携による安定供給体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、CLTパネルの寸法の標準化・規格化に向けた検討を開始。【農水省再掲】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆製造施設の整備（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・R4.4現在のCLT工場数、生産能力は、R3年度と同様（9工場、8万m³/年）。R4年度に九州1工場が本格稼働となっており、生産能力が増加する見込。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州3工場 ・需要動向や地域ブロックバランスを考慮したCLT製造施設の整備への支援事業を実施。【以上、農水省再掲】 ◆製造メーカー間の連携による安定供給体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、寸法の標準化・規格化に向けた取組を推進し、CLT製造事業者と設計・施工者等の連携によるモデル的な建築等の実証（8月末時点で1件）に対して補助予定。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【農水省再掲】 |
| <p>CLTの活用範囲が狭い</p> | <p>建築基準・材料規格の合理化</p> <p>建築以外の分野での活用</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆中層CLT建築物の構造計算等の合理化・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・CLTパネル工法の構造計算のモデル化手法、階数制限緩和に向けた検討に対して補助。【農水省】 ・ルート2構造計算の適用範囲の拡大を検討。（告示）【国交省】 ◆幅広い層構成の基準強度の設定等 <ul style="list-style-type: none"> ・収集したスギ7層7プライの強度試験データについて、整理・分析、評価を実施。【農水省】 ・林野庁において収集された強度試験データ等を踏まえて、CLTの基準強度に7層7プライ等の強度を追加（告示）【国交省】 ◆効率性の高い非等厚CLT等の規格の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体において、効率性の高い非等厚CLTの規格の拡充に向けた強度データの収集を行う事業の計画、準備を実施。【農水省】 ◆土木分野で活用可能な製品の開発推進 <ul style="list-style-type: none"> ・土木分野での活用が期待される製品の選定など、CLTを活用した土木利用技術の開発に向けた取組に対して補助。【農水省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆中層CLT建築物の構造計算等の合理化・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・CLTパネル工法の構造計算の簡易なモデルの整備に対して補助。【農水省】 ・ルート2構造計算の適用範囲を拡大予定。（告示） ・建築物における木材利用の促進を図るため建築基準法を改正。<u>2年以内の施行に向け、新たな防耐火規制に対応した基準等を検討中。</u>（法令等）【以上、国交省】 ◆幅広い層構成の基準強度の設定等 <ul style="list-style-type: none"> ・スギ9層9プライの強度試験データの収集等に対して補助。【農水省】 ・林野庁において収集される強度試験データ等を踏まえて、CLTの基準強度に9層9プライの強度の追加を検討。（告示）【国交省】 ◆効率性の高い非等厚CLT等の規格の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・効率性の高い非等厚CLTの規格の拡充に向けた強度データの収集等に対して補助。【農水省】 ◆土木分野で活用可能な製品の開発推進 <ul style="list-style-type: none"> ・早期の実用化が期待できる技術についてより詳細な検証を進めるなど、CLTを活用した土木利用技術の開発に向けた取組に対して補助。【農水省】 |

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|------------------------------------|----------------------|---|---|
| <p>CLTの設計・施工等をしてくれる担い手がみつかりにくい</p> | <p>設計者等の設計技術等の向上</p> | <p>◆設計者・施工者等に向けた講習会等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLT建築物の計画や設計実務の担当者向けに相談窓口を開設し、専門家を派遣するなどの取組に対して補助。63件の相談に対応、25件に専門家を派遣。 新たにCLTに取組む設計者等向けの実務講習会（WEB）の開催に対して補助し、679名が受講。 企画者・設計者等向けの実物件に関するWEB講習会の開催に対して補助し、358名が受講。 CLTを活用した建築物等実証や、技術開発等の成果を普及するため、報告会の開催に対して補助。 実務者のためのCLT構造設計の手引きの作成に向けた検討に対して補助。 木造軸組工法におけるCLT部分利用の構造設計マニュアルの作成に向けた検討に対して補助。 CLTを用いた中大規模木造建築物の防耐火設計手引きの作成に向けた検討に対して補助。 【以上、農水省】 CLT建築物を担う大工技能者等の育成に係る取組に対する支援を実施。 CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に関する講習に対する支援を実施。 【以上、国交省】 <p>◆設計者への一元的サポートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に資する技術情報を集約・整理し、設計者へ一元的に提供するポータルサイトの整備に対する支援を実施。 過去の具体事例における詳細な設計関連の技術資料や標準図を上記ポータルサイトで公表。 国土交通省総合技術開発プロジェクト「新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発（平成29年～令和3年）」において検討を実施。 【以上、国交省】 | <p>◆設計者・施工者等に向けた講習会等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> CLT建築物の計画や設計実務の担当者向けに相談窓口を開設し、専門家を派遣するなどの取組に対して補助。 新たにCLTに取組む設計者等向けの実務講習会（WEB）の開催に対して補助。 事業者等向けの実物件に関するWEB講習会の開催に対して補助。 CLTを活用した建築物等実証や、技術開発等の成果を普及するため、報告会の開催に対して補助。 <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、CLTを用いた中大規模木造建築物の防耐火設計手引きの作成に向けた検討に対して補助。 【以上、農水省】 引き続き、CLT建築物を担う大工技能者等の育成に係る取組に対する支援を実施。 引き続き、CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に関する講習に対する支援を実施。 【以上、国交省】 <p>◆設計者への一元的サポートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ポータルサイトの充実に対する支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 「新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発（平成29年～令和3年）」の技術資料をとりまとめ、公表。 【以上、国交省】 |

CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

| 課題 | 取組事項 | R3年度の実績 | R4年度の内容 |
|----------------------------|---------------|---|---|
| CLTの設計・施工等をしてくれる担い手がみつけにくい | 設計等のプロセスの合理化 | <ul style="list-style-type: none"> ◆設計・積算ツールの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・構造計算を合理化・容易化するための一貫構造計算システムの検討に対して補助。【農水省】 ◆建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・標準的なBIM木質部材データの整備と木質部材の需要・供給情報を共有できるようなデータベース構築に向けた取組を実施。【農水省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆設計・積算ツールの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、構造計算を合理化・容易化するための一貫構造計算システムの整備に向けた取組に対して補助。【農水省】 ◆建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、標準的なBIM部材木質データを整備するとともに、実際の材料調達における課題や、BIM木質部材に係るデータベース構築に向けた課題の抽出・検証を実施。【農水省】 |
| | 担い手情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ◆担い手に関する情報の積極的提供 <ul style="list-style-type: none"> ・CLT建築物に対応可能な設計者、施工者等のリストをポータルサイトで公表。【国交省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆担い手に関する情報の積極的提供 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、CLT建築物に対応可能な設計者、施工者等のリストをポータルサイトで公表。【国交省】 |
| CLTの維持・管理の方法が分かりにくい | 適切な維持・管理情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ◆既存建築におけるCLT等の木質材料の維持・管理について分析・整理 <ul style="list-style-type: none"> ・木造建築物における費用性及び収益性の普及・広報に係る検討に対する支援を実施。【国交省】 | <ul style="list-style-type: none"> ◆既存建築におけるCLT等の木質材料の維持・管理について分析・整理 <ul style="list-style-type: none"> ・具体事例から得られた維持・管理の状況・コスト等の分析・整理に向けた検討を実施。【国交省】 |